

Good luck. Good life.

SANKYO
REPORT

第55期

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。第55期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）のご報告をするにあたり、ここにご挨拶を申し上げます。



代表取締役会長

加藤 孝行



代表取締役社長

簡井 公久

2020年3月期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益が底堅く推移するとともに、雇用・所得環境も改善が続き、緩やかな回復が続くことが期待されておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、不要不急の外出・大規模イベント等の自粛が求められるなど、企業収益や個人消費への影響が出ており、国内外の経済への影響は、今後も厳しい状況が続くことが見込まれております。

当パチンコ・パチスロ業界では、2018年2月に施行された改正遊技機規則により、2021年1月末までに旧規則機が完全に撤去されることとなっております。旧規則機の撤去期限が迫る中、各メーカーは新規規則機の普及・認知に向け注力しましたが、2020年3月末現在、全国のパーラーにおける総設置台数に対する旧規則機の設置占有率は、パチンコ・パチスロともに未だ半数以上を占めており、新規規則機の普及率は、改正遊技機規則施行の経過期間に対し、低水準にとどまりました。

一方、2020年に入り、警察庁が「技術上の規格解釈基準」を変更したことに伴って、多様なゲーム性を有するパチンコ機が開発可能となったほか、パチスロ機においても6.1号機と呼ばれる新たな自主規制に基づくゲーム性の基準緩和が行われ、今後の市場投入にパーラーからの期待が高まりを見せる状況となりました。こうした明るい兆しが見えてきた中、2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策に伴い、パーラーでは集客を目的とした広告宣伝の自粛等により、集客への影響が長期化する恐れが否定できず、新台購入に対するマインドの低下を招きました。

こうした中、当社グループでは、新規規則機の普及・定着に向け、多種多様な新商品及び、リユース機を投入してまいりました。しかしながら、パーラーにおいて旧規則機と新規規則機が併存する中、新規規則機への積極的な入替を促すまでには至らず、パチンコ・パチスロの販売台数は伸び悩む結果となりました。

なお、2020年5月に改正遊技機規則が改正・施行され、旧規

則機の撤去期限は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響などに鑑み、1年間延長されることとなりました。

以上の結果、連結売上高784億円（前期比11.5%減）、連結営業利益125億円（同41.0%減）、連結経常利益134億円（同39.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、グループの事業再編に伴い、連結子会社の事業の一部を新設分割の上、株式譲渡したことによる特別損益を計上し、また、株式市場の大幅な下落に伴う投資有価証券評価損を計上したことなどから、130億円（同2.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

パチンコ機関連事業

パチンコ機関連事業につきましては、新規13タイトル（リユース機を除く）を発売し、2019年9月に発売したSANKYOブランドの「フィーバー機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」は2万台超、2019年12月に発売したBistyブランドのエヴァンゲリオンシリーズの14作目となる「新世紀エヴァンゲリオン ～シト、新生～」は、3万台を超えるヒット商品となりました。これら、主力タイトルの販売は好調であったものの、パーラーは依然、旧規則機を依りどころとした運用が主であり、また、マーケットが多品種少ロット化傾向にある中、その他販売タイトルは苦戦を強いられる結果となりました。

以上の結果、売上高605億円（前期比20.2%減）、営業利益148億円（同44.9%減）、販売台数149千台となりました。

パチスロ機関連事業

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドの「パチスロ ボンバーパワフルⅢ」（2019年5月）、「パチスロ トータル・イクリプス2」（2019年11月）、Bistyブランドの「カードバトルパチスロ ガンダム クロスオーバー」（2019年10月）などを販売いたしました。2019年末にかけて撤去期限を迎えた人気の高い旧規則機を中心に入替が行われたものの、人気シリーズの後継機に需要が集中し、当社グループでは合計5タイ

連結財務ハイライト (2020年3月期)

売上高

78,416百万円 (前期比 11.5%減)

経常利益

13,476百万円 (前期比 39.6%減)

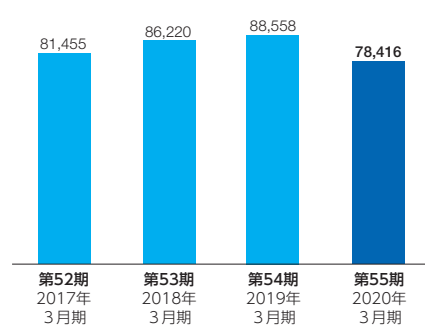
営業利益

12,551百万円 (前期比 41.0%減)

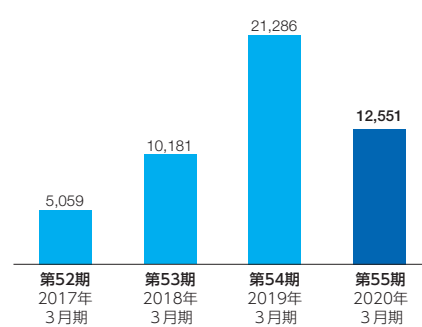
親会社株主に帰属する当期純利益

13,045百万円 (前期比 2.5%減)

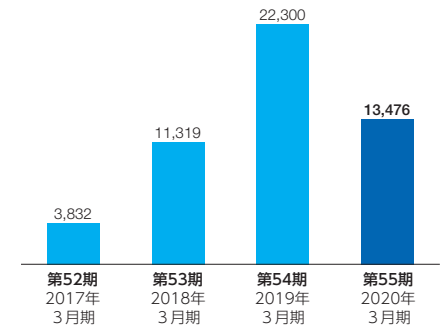
売上高 (単位:百万円)



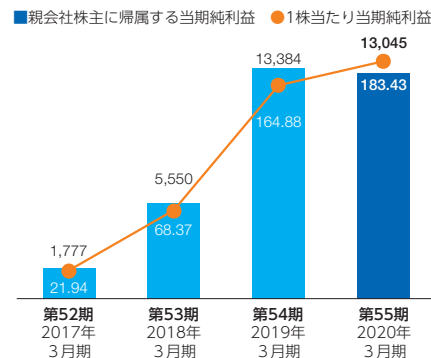
営業利益 (単位:百万円)



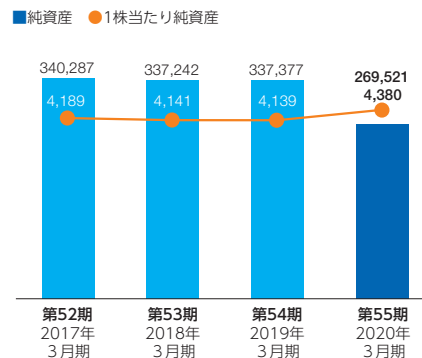
経常利益 (単位:百万円)



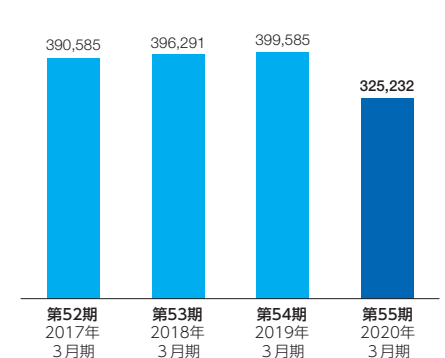
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)
1株当たり当期純利益 (単位:円)



純資産 (単位:百万円)
1株当たり純資産 (単位:円)



総資産 (単位:百万円)



トルの販売を行いました。1万台を超えるヒット商品が創出できず、販売台数が伸び悩む結果となりました。

以上の結果、売上高114億円 (前期比91.3%増)、営業利益24億円 (前連結会計年度は9億円の営業損失)、販売台数28千台となりました。

補給機器関連事業

補給機器関連事業につきましては、売上高59億円 (前期比5.0%減)、営業利益3億円 (同18.4%減) となりました。

その他

その他につきましては、売上高5億円 (前期比2.1%減)、営業損失1億円 (前連結会計年度は3億円の営業損失) となりました。

2021年3月期の見通し

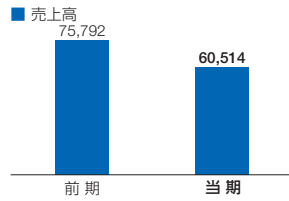
次期 (2021年3月期) の市場環境につきましては、新規規機への入替需要が本格化し、パチンコ・パチスロともに出荷が増えることを想定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、パチンコ・パチスロに対して政府や地方自治体から休業要請が発せられたことなどにより、当社グループの販売先であるパチンコ・パチスロの設備投資意欲につきましても多大な影響が発生しており、その終息時期も不透明な状況にあります。こうした状況が、当社グループの事業活動及び経営成績に与える影響により、当初見込んでおりました入替需要を含め、業績予想の合理的な見積りが困難であることから、次期の業績予想を「未定」とさせていただきます。なお、今後合理的な見積りが可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

セグメント別営業概況

パチンコ機関連事業

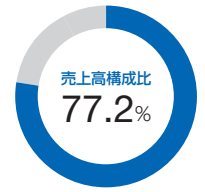
売上高

60,514 百万円
(前期比 20.2%減)



事業内容

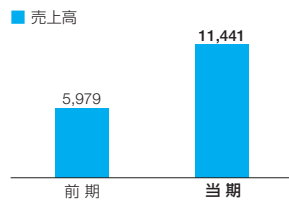
パチンコ機、パチンコ機ゲージ盤の製造販売、関連部品販売及びパチンコ機関連ロイヤリティ収入



パチスロ機関連事業

売上高

11,441 百万円
(前期比 91.3%増)



事業内容

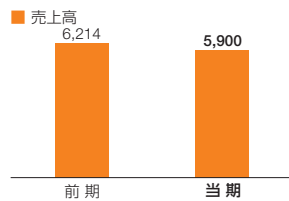
パチスロ機の製造販売、関連部品販売及びパチスロ機関連ロイヤリティ収入



補給機器関連事業

売上高

5,900 百万円
(前期比 5.0%減)



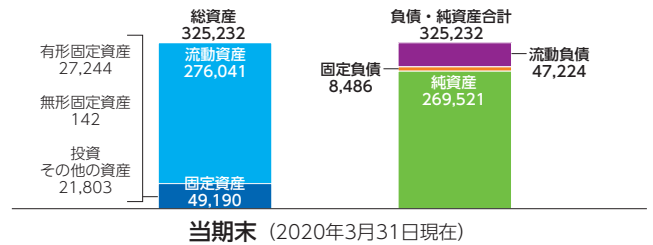
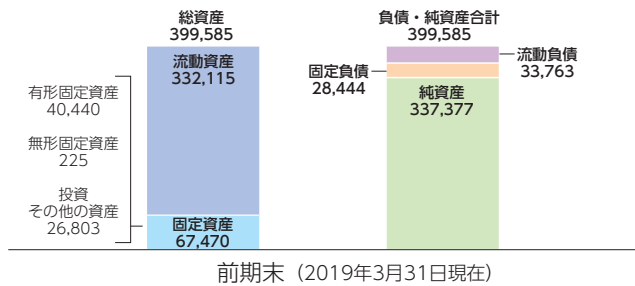
事業内容

パチンコ・パチスロ補給装置、カードシステム機器、ホール設備周辺機器販売及び補給機器関連ロイヤリティ収入

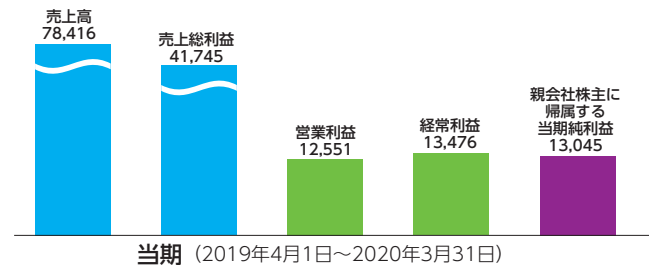
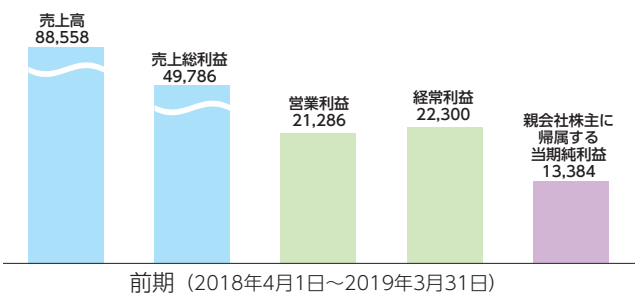


連結財務諸表

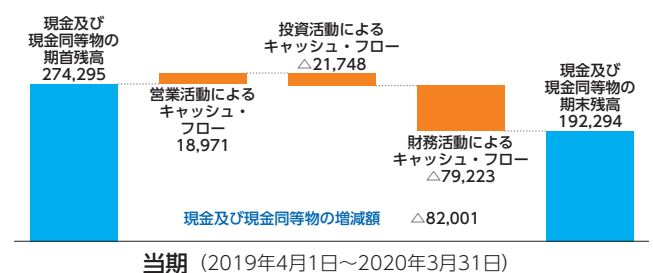
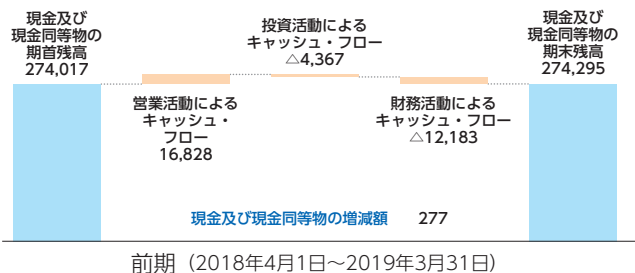
財政状態 (単位: 百万円)



経営成績 (単位: 百万円)



キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



『遊タイム』でパチンコ革命！ SANKYOから遊タイム搭載機業界第一弾！



2019年12月に遊技機の「技術上の規格解釈基準」が変更されたことに伴いパチンコメーカーの組合である日本遊技機工業組合の「内規」が改正され、大当たり後のみに認められていた時短突入について、その他の条件でも発動させることが可能となりました。

その条件の中でも特に注目されているのが、通常時（低確率時）に一定回転数に到達すると発動する時短＝「遊タイム」です。大当たりが引けず通常時が続いた場合でも「遊タイム」に突入することで、玉をほとんど減らさずにプレーすることができます。

当社は、この「遊タイム」を搭載した「Pフィーバー真花月2 夜桜バージョン」を他社に先駆けて開発・発売いたしました。「フィーバー花月シリーズ」は2003年に登場してから今作で4作目。根強いファンに支持されてきた当社の人気シリーズ機です。その「真花月」×「遊タイム」で、業界に新風を吹き込んでおります。

今後も更なるファンの獲得、市場の活性化に向けて、魅力的な遊技機開発に取り組んでまいります。

時短とは？ 時短とは「電動チューリップ」という入賞口が頻繁に開くことで玉が入りやすくなり、玉をほとんど減らさずに抽選を受けることができる状態のことです。

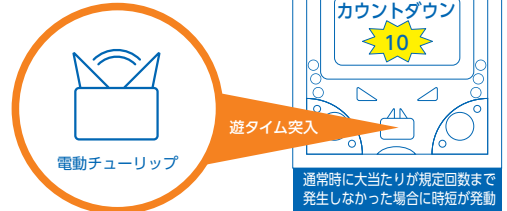
● 『遊タイム』（b時短）と他の時短機能

a時短	大当たり後の時短。時短回数上限（100回）の撤廃。
b時短 （遊タイム）	通常時（低確率時）、一定回転数に到達すると発動する時短。
c時短	特定図柄の表示後、発動する時短。

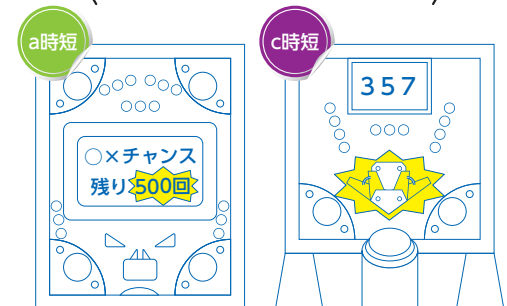


遊タイムについて、詳しくはこちらをご覧ください。

▶ <https://s-pwfl.com/help/info1.php?vol=ppw13003>



他にも新たなゲーム性を実現する時短が搭載可能に！



株主優待のご案内

毎年3月31日ならびに9月30日現在の株主名簿に記録された1単元（100株）以上を保有の株主様に、群馬県高崎市にあるゴルフ場『吉井カントリークラブ』でご利用いただける優待券を以下の条件に基づいて贈呈いたします。

● 贈呈基準

保有株式数	ご利用日	優待内容	贈呈枚数
100～999株	平日	10,000円割引券	1枚／1回
	土日、祝日	5,000円割引券	
1,000～9,999株	全日	プレーフィー無料券	1,000株につき1枚／1回
10,000株～	全日	プレーフィー無料券	一律10枚／1回

● 発送日・有効期限

対象となる株主様	発送日	有効期限
3月31日現在の株主様	6月下旬	翌年の2月末まで
9月30日現在の株主様	12月初旬	翌年の8月末まで



吉井カントリークラブ

〒370-2138

群馬県高崎市吉井町下奥平554

ホームページ：

<https://www.ycc-golf.co.jp/>

会社概要

商号	株式会社 SANKYO (登記社名 株式会社 三共)
本社	東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
設立	1966年4月
資本金	148億4千万円
従業員数	連結：957名 単体：775名
主要な事業内容	遊技機（パチンコ機、パチスロ機）の製造 及び販売、補給機器等の設計施工及び販売
連結子会社	株式会社三共エクスセル 株式会社ビスティ インターナショナル・カード・システム株式会社 株式会社ジェイビー

役員 (2020年6月26日現在)

代表取締役会長	CEO	毒島 秀行
代表取締役社長	COO	筒井 公久
取締役副社長執行役員	営業本部長 兼 商品本部長	富山 一郎
取締役副社長執行役員	経営企画部長 (製造本部・管理本部管掌)	石原 明彦
社外取締役		木谷 太郎
社外取締役		山崎 博行
常勤監査役		大久保 隆史
監査役		石山 俊明
社外監査役		真田 芳郎
社外監査役		野田 典義
専務執行役員	知的財産本部長 兼 商品本部副本部長	小倉 敏男
常務執行役員	製造本部長 兼 三和工場長	高井 克昌
常務執行役員	管理本部長	大島 洋子
執行役員	営業本部副本部長	東郷 裕二
執行役員	管理本部 総務部長	古平 博
執行役員	商品本部	福田 隆
執行役員	商品本部 商品部長	堤 順一
執行役員	製造本部 購買品質担当部長	関根 史高
執行役員	商品本部 PS開発部長	鴨田 久
執行役員	営業本部副本部長 兼 販売戦略部長	尼子 勝紀
執行役員	管理本部副本部長 兼 経理部長	高橋 博史

ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

SANKYO 検索 <https://www.sankyo-fever.co.jp/>

株式会社 SANKYO

本社：〒150-8327 東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
お問い合わせ先：☎ 03-5778-7777 (代表)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(URL https://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html)

株式の状況

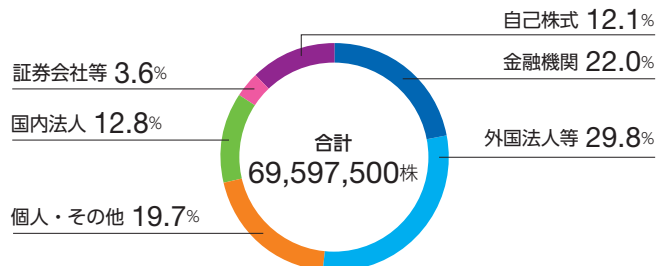
発行可能株式総数	144,000,000株
発行済株式総数	69,597,500株
株主数	11,313名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マーフコーポレーション	8,346	13.64
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	4,303	7.03
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	3,484	5.69
毒島 秀行	2,031	3.32
毒島 章子	2,006	3.27
赤石 典子	1,906	3.11
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口9)	1,640	2.68
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	1,561	2.55
JPモルガン証券株式会社	1,158	1.89
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	942	1.54

(注) 1. 持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(8,427,105株)を控除して計算しております。

株式の所有者別構成比



この冊子は環境保全のため、植物油インキを使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。